

東つよしの 奔西走



総社市の挑戦

障害者千人雇用

4月25日、総社市で障害者雇用と、権利擁護センターについて話を聞きました。総社市では「障がい者千人雇用センター」を作り2年間で約180人増の601人の障害者雇用を実現しています。総社市で千人なら、岡山市では1万人に相

当します。

国の制度などを研究し、必要なことは障害者一人ひとりをよく知り、企業とつなぐことだと分かったといっています。そして市長が全職員に政策を徹底し、あらゆる部局で障害者の働きやすい条件づくりをすすめています。例えば、耕作放棄地で野菜作りをあっせんし、全量買い上げて

給食に使ったり、デマンドタクシーの「雪舟くん」を働く場所に停まるようにしています。職員さんは小さな自治体で部局が異なっても顔が分かるからできたと言っていました。

かかった費用は「障がい者千人雇用センター」の人員分以外はほとんどありません。岡山市も学ぶべき大きな挑戦です。

臭いと煙の被害への 対策を要請

南区箕島にある中間処理施設から出る煙が、早島町の団地に流れ「目やのどが痛い」などの苦情が出ています。南区の住民からの声もあります。

物対策課は、見回りの回数を増やし、早朝などでも対応できるように検討します。

4月17日、早島町議の真鍋氏とともに

市に対策を求めました。(写真) 産業廃棄



五月臨時議会で東市議は「環境消防水道委員会」所属になりました。「市民協働・男女共同参画調査特別委員会」の委員長になりました。

ひとこと

アベノミクスで株価が上がったと報道されます。ただ実際に景気がよくなったという方になかなかお会いできません。物価が上がって苦労される方はたくさんいるのですが。みなさんはいかがでしょうか。実入りが増えてこそその景気回復、必要なのは賃上げとくらしの応援です。

(東つよし)

環境保全課としても中間処理施設への見回りを検討するとともに住民からの通報は直接対応します。環境保全課は 086-803-1280 です。

南区の海岸通り周辺でも臭いの苦情があります。環境保全課が臭気指数の測定を行い、現在悪臭防止法にもとづきダイケンに指導をしています。